

NEWS RELEASE



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2007年10月12日

-和歌山食育応援弁当 登録第1号- 「紀州産しらすと梅煮しめのお弁当」を発売! ～10/16(火)より和歌山県内にて限定発売、 「食育応援フェア」も同時開催～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO> 山口 俊郎）は、10月の「和歌山県食育推進月間」に併せて、県のガイドラインに沿ったお弁当を開発致しました。和歌山食育応援弁当登録第1号として、2007年10月16日（火）より、和歌山県内の38店舗（9月末現在）にて、「紀州産しらすと梅煮しめのお弁当（七穀米）」を発売いたします。

あわせて、2007年10月31日（水）まで「食育応援フェア」を実施いたします。「おにぎり」「サンドイッチ」「パン」等の売場にフェアに関する告知物を掲示し、朝食を食べる環境づくりを推進いたします。

今後も引き続き、和歌山県との取り組みを行うとともに、地元の食材を使用した安心・安全な商品開発に努めてまいります。

【商品の紹介】

『和歌山食育応援弁当 登録第1号』



◇ 紀州産しらすと梅煮しめのお弁当（七穀米） 550円（税込）

662Kcal

【発売日】 2007年10月16日（火）

- ご飯は、もち米や黒米等の七穀米を使用し、和歌山県産しらすと小松菜をトッピングしました。
- 梅煮しめは、紀州産南高梅を味付けに使用し、人参・かぼちゃ・大根・さといも等具材も豊富です。
- 鶏の唐揚げと秋野菜の素揚げやほうれん草とえのきのおひたし等副菜も豊富に色々な味わいを楽しめる逸品となっております。

【食育応援フェア】

- ◇ 「和歌山県食育月間（10月）」中、和歌山県内のセブン-イレブン 38 店舗（9月末現在）にて「食育応援フェア」を実施します。

食育とは、食育基本法で、『生きる上での基本であって、知育、德育及び体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること』とされています。県の取組みに賛同し、「おにぎり」「サンドイッチ」「パン」等の売場にフェアに関する告知物を掲示し、朝食を食べる環境づくりを推進いたします。



<フェア告知物の一例>

<セブン-イレブンと和歌山県との取組みの経緯>

- 株)セブン-イレブン・ジャパンと和歌山県は、2004年3月公共サービスの向上や産業の振興等を図ることを目的に地域協働事業について包括的な取り組みを行なう締結をしております。
- 地域貢献活動として、南海地震対策活動に対する協力、道路清掃を目的としたスタンプラリーを実施いたしました。
- 県産品の利用促進としては、お中元やお歳暮商品として、「角長さんのお醤油」や「南高梅」を扱っており、お客様から大変ご好評をいただいております。また、オリジナル商品として「井出商店さんの袋ラーメン」は、お土産としても喜ばれております。
- 観光振興として、和歌山県発行の「紀州浪漫」をセブン-イレブンの店舗で設置しております。

以上